

ぴゅあ各館 事業レポート 令和2年度事業を振り返って

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ぴゅあ3館の事業も定員や開催時期の変更を余儀なくされましたが、感染症予防対策を整えて事業を開催しました。その一部をご紹介します。

■ ぴゅあ総合主催事業

《12月》

ぴゅあ総合フェスタ 2020 記念講演会
「男らしさ女らしさより「自分らしさ」が社会を変える～LGBT、性の自認と指向とは～」

■講師：フルボンヌさん（女装パフォーマー、ライター）

新型コロナウイルス感染症拡大のため、例年9月に開催する「ぴゅあ総合フェスタ」ですが、今年度は規模を大幅に縮減して12月に開催しました。

記念講演会にはテレビ、ラジオ等でもおなじみのフルボンヌさんをお迎えし、ご自身の経験も踏まえてLGBTや性自認について、また「自分らしく」生きることの大切さや「多様性」を受け入れ、お互いに相手を尊重することの大切さについてお話いただきました。

真剣な語りの中にも笑いを交えながらのあっという間の1時間30分、特別なことではなく、誰もが考え、理解していかなければならないこととして、フルボンヌさんのお話は私たちの心に強く響くものでした。

新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインにより、定員も大幅に削減しての開催でしたが、会場は満員で、ぴゅあ総合としては初めてzoomによる配信も行い、会場に来られない方にも楽しんでいただくことができました。



《11月》

普及・啓発事業 女性の政治参画応援セミナー
「政治の女子力をアゲる！
～女性の政治参画が進むことで世の中がこうに変わります～」

■講師：2019女性の挑戦・山梨の皆様

今年度から始まった「女性の政治参画応援セミナー」です。日本の女性議員の割合が他の国々と比べても低いことはよく言われていることですが、本事業は政治家を目指そう！ではなく、まずは議員って何をやるの？どうし

て議員になったの？という素朴な疑問から、これから私たちがやっていけることについて、現役の女性議員を始めとする講師の皆様と熱く語り合いました。女性が政治に積極的に参画することで変わる・変えられることなど、いろいろな気づきをもたらえた講座でした。

《12月》

普及・啓発事業
男女共同参画ネットワークセミナー実践講座

「防災 わが町
～災害時でも、誰もが安全・安心に過ごすには～」

■講師：池田恵子さん
（静岡大学教授）

日本各地で毎年のように大規模な自然災害が発生し、開設される避難所では、女性も小さな子供も介助や介護が必要な方も、一緒に避難します。誰もが不安な気持ちの中、誰もが安心して過ごすために必要な準備や心構えとは何か、災害時の男女共同参画の視点の導入について数々の自治体の避難所運営マニュアルの作成にも関わっている静岡大学の池田恵子先生と一緒に考えました。被災してからでは遅い、しかし今からでも間に合う防災と男女共同参画について、改めて考える良い機会となりました。



■ ぴゅあ峡南主催事業

《10月》

普及・啓発事業 「私がスポーツから学んだこと
～アスリートとして、女性として、母として～」

■講師：佐野夢加さん（元陸上競技アスリート/2012年ロンドン五輪出場）

1年延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた講座として、富士川町出身で2012年ロンドン五輪に出場された佐野夢加さんをお招きし、五輪を目指したきっかけから夢への実現、そして結婚して2児の母となった今、家庭を優先しながら走る楽しさを伝えている現在の活動等についてお話いただきました。佐野さんはアスリート時代を振り返り、仕事と競技の両立やケガで思うようなパフォーマンスができず苦悩した時、家族や周りからの協力で支えられたと話し、4年に一度のチャンスをものにするためには、選手、コーチ、家族が同じ気持ちで夢舞台を目指し、自身の全てを競技に尽くした日々などを語っていただきました。また、女性として競技生活における変化についてもお話いただき、スポーツの分野における男女共同参画について、オリンピックから直接学ぶ貴重な機会となりました。



《11月》

普及・啓発事業

男女共同参画ネットワークセミナー実践講座
「女性の視点で考える防災」

～自分の命・家族の命を守るために

■講師：斉藤節子さん(ぴゅあネットやまなし代表)

防災や減災、災害に強い社会実現にとって欠くことのできない、女性の視点を反映した災害対策や取組みなど、グループワークなどを交えながら実践的に学びました。

講師には、ぴゅあネットやまなし代表の斉藤節子さんをお招きし、被災地の実情を踏まえた備えなど、女性の視点で考え、情報提供していただきました。

《2月》

交流促進事業 ぴゅあ峡南男女共同参画講演会
「キャン・ユー・スピーク甲州弁？」

～甲州弁は山梨の宝だっつこん！～

■講師：五緒川津平太さん(作家)

男女共同参画について改めて考える機会として講師に南アルプス市出身で、著書『キャン・ユー・スピーク甲州弁？』でおなじみの五緒川津平太さんをお招きし、ご講演いただきました。講演では、「やまなしのおばちゃん語・やまなしのおっちゃん語」として日常会話で使われる甲州弁を紹介したり、甲州弁にも地域差があると話し、参加者の出身地を当てるコーナーもありました。五緒川さんは方言を使うことによって男女間や地域でのコミュニケーションが円滑に進むことがあり、甲州弁は次世代に残すべき大切な故郷の言葉であると語られました。甲州弁の魅力を面白おかしく伝えていただき、またユーモアあふれる語り口に会場は終始笑いの渦に包まれていました。



■ ぴゅあ富士主催事業

《12月》

普及・啓発事業

「子どもと暮らす毎日 心の健康を考えましょう！
with コロナ」

■講師：飯久保百合子さん
(公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士)

新型コロナウイルスで子どもも親も相当なストレスを抱えた日々を送っていると思います。公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士の飯久保百合子さんを講師にお招きし、いつまで続くかわからないコロナ禍を過ごしやすいようにするために一緒にストレスについて考え、軽減する方法について学びました。ストレスの原因を知り、その反応に気づき、抑えるスキルを習得することが心の健康につながります。ストレスを無くそうとするのではなく、上手に付き合っ

ていくことが大切であるということがわかりました。

スクールカウンセラーとしても活躍する飯久保先生は、今の子どもたちがどんなことで悩んでいるのか、現状を交えながら丁寧に教えていただきました。明日からすぐに実践できるストレスマネジメントやストレスサインなどを学ぶことができ、タイムリーで、たくさんの方に聞いていただきたい講座の一つでした。



《1月》

普及・啓発事業

男女共同参画ネットワークセミナー実践講座
「防災を日常に！」

家族のためのアクティブ防災®講座

■講師：宮丸みゆきさん(NPO法人MAMA-PLUG理事・アクティブ防災®事業副代表)

「自助」「共助」など市民防災の重要性が高まっているなか、その対策については、いまだに十分ではありません。その中でも特に女性目線の防災が乏しい現在、女性目線の役立つ防災について学び、地域の防災力を高めるためにNPO法人MAMA-PLUG理事・アクティブ防災®事業副代表の宮丸みゆきさんを講師に招き、男女共同参画の視点から災害時における必要な対策・対応に取り組む重要性について学びました。今回、講師の宮丸さんのお住まいの地域が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出地域であったため県をまたいで移動が難しく、zoomを使用して講座を開催しました。

日常生活に活かせるアイデアを楽しく！賢く！をモットーにしている団体だけあって、それぞれの家族にあった防災について教えていただきました。明日から実践できる防災をいくつも教えていただいたので、すぐに使え、役に立つ防災講座になったと多数の参加者から声をいただきました。

《2月》

DV防止啓発講座

「DVから自分の身体を守るために」

～気づきと適切な対応～

■講師：海野聖子さん
(都留市立病院助産師、一般社団法人誕生学協会「誕生学アドバイザー」認定講師)

地域社会が持続可能なコミュニティとして生き残るためには、男女共同参画の視点でまちづくりを進めていくことが不可欠です。そこでこれからの自治体や地域での推進活動をどのように進めていくべきか、具体的な事例をあげながら、ワークショップを行ないました。いつもとは違い参加者がいきいきと討論している中からたくさんのヒントを見つけ、これからのまちづくりに生かされると感じました。

